

子どもたちの「生きる力」を育むために

Action (アクション)

令和2年 6月

岡山教育事務所生涯学習課

～ できることを あるものを使って 今いるところで はじめよう ～

皆さんの地域では、「学校と地域の連携・協働」をどのように進められていますか。何を目標として、どのようなことを実践されていますか。

情報紙「Action (アクション)」は、これからの学校と地域の在り方を示したり、連携状況・取組を振り返るチェックシートや県内外の素晴らしい活動等を紹介したりしていきます。

これを御覧になっているあなたの熱い思いと行動力 (アクション) で、学校を、地域を、未来を変えませんか。

ずいぶん前から「学校・家庭・地域の連携」が重要って言われてるよ。っていうか…

なんで「学校と地域の連携・協働」が大事なん？



子どもたちが生きる未来は…

- ・少子高齢化により、社会は激しく変化
- ・人口減少、財政難の課題も深刻化
- ・グローバル化、情報化等により、変化が激しく予測困難

子どもたちを取り巻く環境は…

- ・地域のつながりの減少による家庭・地域の教育力の低下
- ・発達障害や貧困等、福祉的な課題の増加
- ・学校が抱える課題が複雑化・多様化

AI(人工知能)などのテクノロジーを駆使した超スマート社会(Society5.0)を目指そう！
そのためには、テクノロジーを使いこなし、「創造力」や「実践力」のある人間を育てよう！

この状況を打開していくためには、学校と社会が課題や危機を共有して「社会総がかり」で解決策を考えないといけないね！

地域に「参加」と「協力」を求めていた「開かれた学校」から、「参画」と「協働」によって「地域社会とつながる学校」へと変わらないといけないわ！

大改革!!

- ・「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と地域が共有し、協働活動を広げよう。
- ・未来の創り手となるために必要な資質・能力を育もう。

このことは、「2020年新学習指導要領総則」に示されています。今までの教育理念は、子どもたちの人格の形成を目指すものでした。ここまで「地域づくり」が色濃く示されたことはありません。みんなで、できることから取り組んでいきましょう。